

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	青少年課長	田中 良一
こども-24 青少年会館管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	青少年課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援

1 事業の目的

対象	青少年
意図	交流と活動の場を提供することにより、青少年の自立を促すため。
効果	青少年の健全育成に寄与する。

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 様々な年齢層の青少年を対象に、各種の講座を開催した。 鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館の維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日(住民基本台帳)0歳児～29歳
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数	42,280人	事業の対象者数	42,655人	
運営資源状況	当初予算(千円)	37,032	決算値(千円)	33,014	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	1,929	その他	1,929	
	一般財源	35,103	一般財源	31,085	
	人員配置数	2.1	人員配置数	2.1	
事業経費運営	人件費(千円)	17,253	人件費(千円)	16,711	
	総事業費(千円)	54,285	総事業費(千円)	49,725	
	市民1人当りの経費(円)	306	市民1人当りの経費(円)	280	
	対象者1人当りの経費(円)	1,284	対象者1人当りの経費(円)	1,166	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	青少年会館がさらに有効な青少年の居場所となるよう引き続き検討を進めていく。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	平成24年度から実施している鎌倉青少年会館フェスティバルを引続き開催するとともに、玉縄青少年会館においても、地域との交流やふれあいを図り、広く地域の方々に周知を図るため、玉縄まつりに参加した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	青少年の利用者を増やす事業の展開を図り、青少年会館が青少年の居場所の一つとなるよう努める。	


効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	青少年会館で実施する講座等について、先進事例等を参考にしながら創意工夫することにより、青少年の居場所としての青少年会館の運営を図っていく。	事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・講座やイベントなどを青少年が参加しやすいものにする等の見直し(工夫)を図る。 ・見直しに当たっては、特に経費を必要とするものではないことから、予算規模は現状維持とした。			
総評	・青少年にとって自分の居場所を見出すことはその健全な育成のために必要であり、青少年会館では、これまでも青少年を対象とした各種の取組みを行ってきた。今後も青少年会館が青少年にとっての居場所の一つとなり得るよう、これまでの取組みを継続させるとともに、新たな取組みの工夫や安全な施設運営等とおして、青少年の健全育成に努める。					

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	青少年会館の利用者数の増加						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
青少年の利用者(利用率)数を増やすため。	目標値	52,200.0	52,300.0	52,400.0	52,500.0	52,600.0	52,700.0				
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	・講座内容や青少年会館施設利用のための周知の方法を工夫し、毎年100名ずつの増加を目指したい。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---